

## 特定非営利活動法人ふくし後見ネット 2019年度事業報告書

2019年度 特定非営利活動法人ふくし後見ネット事業報告について、次のとおり承認を求める。

2020年11月28日

特定非営利活動法人ふくし後見ネット  
代表理事 田崎 基

## 1 事業の成果

2019年度の活動内容の主なものは、法人後見事業実施である。見附市を中心として11件を受任した。支援員2人体制と事務局がバックアップする形で支援員1人を中心とする身上監護を行い、財産管理は事務局が一括して実施した。実施してみても支援員1人体制の支援員は、事業所等からの第一連絡先を支援員に担当してもらうことで、支援員の主体的な活動の幅が広がり、事務局の負担軽減にもつながった。支援員養成研修も実施し、支援員の育成に努めた。

## 2 事業実施に関する事項 (2019年9月1日 ~ 2020年8月31日)

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
法人後見事業	法人後見支援員養成研修・親族後見人フォローアップ研修	2019年12月15日 2020年1月19日、2月2・16日、3月1日	見附市	20	20	125
法人後見事業	法人後見業務、見附市を中心とする利用者への支援	通年	見附市 三条市 長岡市	15	18	447
見附市市民個別相談	成年後見制度の活用等の個別相談	通年	見附市	20	30	50
成年後見制度啓発事業	制度について説明した法人パンフレット及びホームページ発信	通年	見附市	20	50	10

(2) その他の事業

(単位:千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額

3 重点事項に関する報告と課題

(1) 法人後見事業

2019年度の目標値は30件であったが18件と申立中ケース3件の実績であった。相談にタイムリーに対応できない場面が目立っており、相談体制の強化と当該事業の啓発も重要であり、来年度の課題としたい。

(2) 組織体制の強化

代表理事を中心として、理事を増員し法人後見業務を中心に取り組んできたが、引き続き組織的な活動強化が求められる。理事の業務、役割分担を検討し見附市、長岡市、三条市等の地域で法人が活躍できる体制強化を行う。

(3) 情報の発信及び公表

ホームページ及びフェイスブックのタイムリーな更新、広報誌 年間2回発行。しかし、広報誌の発刊は未達成であり来年度の課題としたい。

(4) 支援員の確保と育成

支援員養成研修を実施し20名の支援員を育成した

(5) 親族後見人の支援体制の確保

親族後見人に支援員養成研修への参加を呼びかけ、1名であるが親族の研修を修了することが。また、成年後見相談では、法人後見ありきではなく、利用者の身近な親族等の後見人等への就任を推奨している。

(6) 市民講座の実施

高齢者の参加者が多くなることを想定し、コロナウイルス感染症対策のため中止とした。個別相談は法人事務所で問い合わせがあるたびに実施した。当該年度は12件の面接相談を実施した。

(7) 会員研修会

支援員養成研修と合わせて5回実施した。